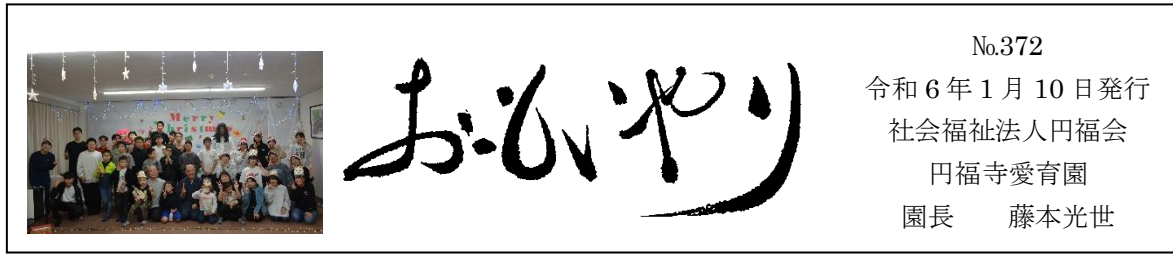


今年のクリスマス会は、とても盛り上がりました。



心の解放

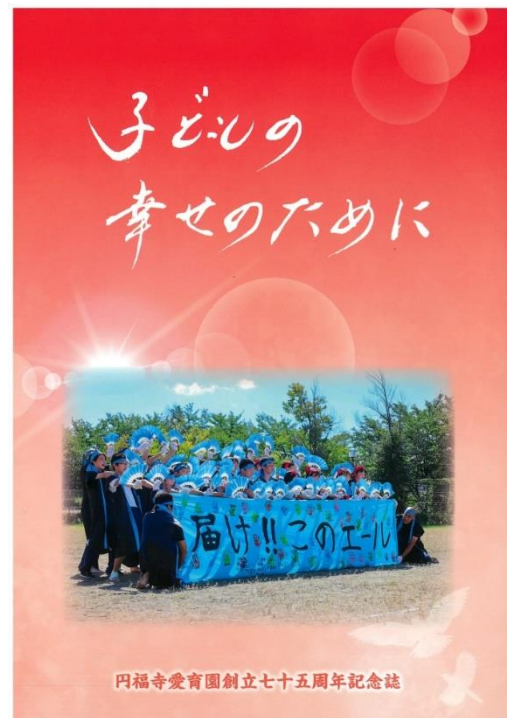
園長 藤本光世

12月19日(土)にクリスマス会を開催しました。

それは、とても楽しいクリスマス会でした。その様子は、職員や子どもたちの感想をお読みになり、感じ取っていただけると嬉しいです。子どもたちはその雰囲気から安全安心を感じ、心を解放し、みんなで楽しい雰囲気を創り、その中に浸っていました。みんなで楽しめるこのような会は、当園のような集団力を生かした生活でしかできません。当園の集団がそこまで育っていることを知り、本当に嬉しく思いました。そして、涙を流しながら笑いました。

「心の解放」について、愛育園創立75周年記念誌「子どもの幸せのために」に富沢主任指導員が、彼自身の養育力の成長と共に書いています。それは、彼が担当した一人の子から教わったことがあります。そうです、私たちは子どもから教わるのです。そして、自分を変えていく。いろいろ

な大変な経験を通して、彼自身が子どもから教わって成長した証がそこに書いてあります。特に、令和五年三月に自衛隊に就職した子どもに教わったことが今の彼を支えています。キーワードは、子どもが「自分に自信がついて、自分自身に安心すること」です。何とすごい言葉でしょう。それを、彼は担当した子から教わったのでした。それは、こちらのはからいを超えた不思議なことなのです。「どうしてなのかわからないが」と書いています。不思議なことこそ真実だと思います。こちらで仕掛けてその通りになったのは真実ではないのです。ちょっと振り返ればわかるように、私たちがこの世に生まれたこと、生を受けていること、成長すること、それらはとても不思議ではありませんか。だから不思議なことこそ真実なのです。そして、愛育園に措置される、



(令和6年1月10日発行 月刊「円福」520号付録)

いろいろな課題を持った子どもたちの成長のために「心の解放」が「どうしてなのかわからない、子どもの自発的な成長の姿を通して」いかに重要であるかを、彼の論文は指摘しています。

皆さんには、是非とも富沢主任指導員の「自立しているという事の幸せ」を読んで欲しいと思います。そして、このクリスマス会はまさに「心の解放」になったと思いました。子どもが喜ぶように準備していただいた竹内先生、山田先生、そして先生方、年長の子どもたちありがとうございます。

私は子どもたちの「心の解放」の裏に職員の「心の解放」が重要と思っています。職員が心の解放をして、そして「自分に自信がついて、自分自身に安心すること」の経験をして、はじめて子どもの「心の解放」が分かり、子どもが「自分に自信がついて、自分自身に安心すること」を理解し、共感できるのではないのでしょうか。そして、富沢主任指導員が書いているように、愛育園の子どもたちの養育を通して「自分はこんなにも豊かで幸せな人生を歩んでいる」ことを実感するのではないのでしょうか。今年のクリスマス会は、職員が子どもたちと一緒に、本気になって「心の解放」をしている姿を見ました。これも、とっても楽しくて、すごいことでした。「心の解放」は、誰にとっても楽しく、安心を感じ、幸せなのです。

最後に、私自身の授業に対する取り組みを紹介したいと思います。

私は物理の教員でした。物理は、教えられたことを覚えこんで吐き出すことでは、学びにならないのです。(このことは、富沢主任指導員が子どもを「型にはめてその通りにさせる」のではだめだ、と書いているのと同じです。)記憶させて、それをテストの時に吐き出させるのでは何も学んだことにならない。私は記憶したことを吐き出させるテストを作成しないので、教わったことを一生懸命覚えようとした子は点が取れないのです。授業で「心を解放」して、遊んでいるような楽しいひと時として、生徒は自分の心と対話する。そんな経験をさせたいと願って毎時間の授業案を作成し、臨んできました。屋代高校の教頭時代が一年間を通して教えた最後でした。その授業を受けた教え子(屋代高校理数科四期生)の感想を紹介しましょう。

『先生の授業は、楽しくて、どこかきょうな感じの授業だったので、物事を難しく考えて必死に取り組む姿勢が全くだめだということが分かった。ただ、その中で、必要とされる事柄を、分かり易くやっていくことこそが一番いいことだどつくづく感じた。本当に楽しい授業なので、あまり勉強をしているという実感がなくできた。僕は、こういうのが大好きだ。本当に、先生に教えてもらって良かったです。ただ、勉強のことではなくて、先生の人柄や考え方というものに、共めいでき、また、尊敬できる点がたくさんあったからです。まだまだ教えていただきたいことがたくさんあるので少し残念に思います。大学入試を目の前にして、選択をせまられるこの時期で、先生の考えを知ることができて、なんとなく、今まで以上に親密になれた感じがしてうれし

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

かったです。ありがとうございました。』

この感想は私にとっての宝物です。

授業も養育も基本的なところでは同じです。愛育園の子どもが幸せになりますように。

新年のご挨拶

まごころホーム長 I・S

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

新年を迎えたばかりですが、少し昨年のことを振り返ってみたいと思います。2023年を振り返ると一番心に残っているのは創立75周年記念式典です。大きな節目の時に円福寺愛育園の職員として参加できとても嬉しく思います。また式典には大勢の方々がお越し下さり、愛育園を応援してくれている人たちがたくさんいるこの場所で働けることはとても幸せなことだなあと思いました。また創立75周年を通して、子どもたちの自立について改めて考えることができました。仕事をしていると迷うことも多くありますが、迷いながらも子ども達が将来幸せな道を歩めるよう、ホームの先生方や周りの先生方とたくさん話をし、みんなで子どもの自立を目指し、日々子どもたちと関わっていききたいと思います。

そして今年まごころホームでは卒園を迎える子が1名、高校受験を迎える子が3名います。高校3年生の児童は卒園が近づき社会に出ていく不安等もありますが、今できることを一生懸命頑張っています。受験を控えている3名の児童も、以前より学習に対して前向きに取り組み、自分の将来に向け日々コツコツと頑張っています。受験まで残りあとわずかですが最後までやり切れるよう応援していききたいと思います。

今年も子ども達が健康で元気に過ごせるよう、職員が一丸となり子どもたちの支援を行っていききたいと思います。本年もよろしくお願ひ致します。

乗り越えていく一年に！

主任指導員 T・M

新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。お正月号という事で、今年の抱負を書かせて頂きます。

昨年4月からここまで、はっきりと言ってとても大変でした。「でした。」というより、今も大変です。なぜなら、あおぞらホームは、元気いっぱいのハチャメチャな男の子達が日々騒がしく生活していますが、昨年から更に輪をかけて、子どもの人数が増えて、職員の手が足りない状況がずっと続いているからです。

しかし、そんな中でもホームの先生方は、子ども達の心が満たされ、よりよく成長していけるようにと、子ども達といっぱい遊んで、たくさん行事を成功させてくれました。しかも、それで

(令和6年1月10日発行 月刊「円福」520号付録)

もトラブルや問題が起きるので、そんな時は子ども達の話をよく聞き、辛抱強く対話を重ね、時には暴言や悪態をつかれる事に対しても怯まず、ほっておかずに対応し続けて来ています。これはものすごくエネルギーを要します。悩み苦しむ時間も相当続いているのではないかと思います。

私は、そんな先生方の様子から大切な事を思い出させてもらいました。それは「乗り越えるって大事だなあ」という事です。自分自身を乗り越えるという意味です。職員の自分自身の壁は、子供との関わりによって子ども達が教えてくれます。周りの目が気になってしまう自分。上手く子どもとコミュニケーションがとれない自分。子どものせいにしてしまう自分。苦勞と思いたくないのに思ってしまう自分。傷つけられてなかなか立ち直れない自分。上手くいかない事から逃げ出したいになってしまう自分。そういったあらゆる迷いや葛藤を一つ乗り越えてはまた一つ。それを繰り返して、先生方が人間的にすごく成長していると感じた一年でした。子ども達にも同じことが言えます。毎日、楽しくのびのびと生活する中で成長を促しつつも、自分の力で乗り越えないといけない課題にはどうしても直面してしまうし、それは誤魔化して目を背け続けてはいけません。そんな時、子ども達は、私たち職員を見ます。その職員が自分自身の壁を苦勞して乗り越える姿を目の当たりにすると、安心感や信頼や勇気が湧きます。同じ目線に立ってくれる事と、自分たちの為に悩み抜いてくれる事が嬉しいのです。

私は、昨年の年度当初、何となく大変な状況になる事を予期して、なんとか一年「乗り切る。耐え切る」という気持ちでいましたが、先生方があちこちで「乗り切る」ではなく「乗り越える」姿を見せてくれるので、それが本当に頼もしくて、愛情が深いなあと感じました。そういう気持ちにさせる子ども達もすごいなあと思います。

先にも書きましたが、必死になってやっていく内、子ども達と同じ目線になっていくのがとても良い事だと思います。「同じ目線」というのは、なろうと思ったり、心がけようと思ってなれるものではありません。自分自身の壁を何度も何度も乗り越えようとしている内に自然と目の高さがあっていきます。心の問題なので、教えたり説明したりしてできる事ではありません。それを先生方やってくれている事が本当に嬉しいです。大変な一年をすごしている最中ですが、ホームとして大きく成長中の一年でもあります。

先生方の姿から私も大切な事を思い出したので、令和6年は、この「自分自身を乗り越えていく」という事に意識を向けて、子ども達と関わっていく事を新年の抱負とさせて頂き、子ども達や先生方や自分の成長を期待していききたいと思います。

本年もどうかよろしくお願ひいたします。

新年のご挨拶

調理主任 U.S

新年あけましておめでとうございます。

昨年も多くの方に、ご支援いただきありがとうございました。旬の野菜や果物を頂き、献立に取り入れることができました。子どもたちが健康で元気に過ごせることは、地域の皆様や愛育園を応援して下さる方のお陰です。感謝申し上げます。

昨年度、私が食事の面で最も印象に残っていることは、食事の量が増えたことです。子どもが増えたことも量の変化に関係していますが、中高生がよく食べるようになりました。朝、昼、夕、毎食御飯を使ったメニューだった場合、10kgのお米を消費します。中高生の姿を見て、小学生も御飯をたくさん盛ってそれを食べてしまうのですごいと思います。不思議なことに肥満型な子はほとんどいません。毎日、ホームの先生方が子どもたちと体育館で遊んだり、外遊びに連れて行ったりして、身体を動かす習慣がついているからだと思います。

これからも子どもたちの成長を食事の面から支えていきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

『クリスマス会』

まごころ保育士 T・S

先日、クリスマス会が行われました。今年は、まごころホームの児童と女性保育士でジングルベルの合奏をしました。2週間前くらいからホームで練習を始めています。全体練習日以外でも個人練習として自主的に練習をする子が多く、楽しく練習をすることができました。当日緊張はしていましたが、練習の成果を出すことができ良かったです。あおぞらホームでもダンスをたくさん披露してくれていました。みんなで盛り上がるのができて良かったです。今回、私は係だったので、どうやってクリスマス会を盛り上げようか考えたとき、いつもと違う形でレクをやりたいと思い、6チームに分けてチーム対抗レクを考えました。4つほどゲームを準備しましたが、

想定以上の盛り上がりで、予定時間を1時間以上オーバーしてしまいました。それでも子どもたちみんな楽しんでくれたと思うので、準備して良かったと思いました。こういうときにみんな笑顔で過ごせる子どもたちの良い姿がたくさん見れて嬉しかったです。たくさんの協力があってクリスマス会が大成功に終わって良かったです。



クリスマス会

あおぞらホーム F・K

円福寺愛育園では、12月16日にクリスマス会がありました。クリスマス会では、中高生と職員による発表やグループ対抗のレクリエーションを行いました。

私もあおぞらの中高生たちと一緒にダンスの発表をさせてもらいましたが、子どもたちは練習の時からとても楽しそうに参加していて、一緒にやる私も楽しく参加させてもらうことができました。本番でも発表している子どもたちも観ている子どもたちもとても楽しそうにしており、発表は大成功でした。

また、レクリエーションでは、6つのチーム対抗で「イントロクイズ」「以心伝心ゲーム」「聖徳太子ゲーム」「ロシアンルーレットゲーム」の4つのゲームのポイントを競いました。どのチームともメンバーで協力してゲームに挑戦し、クイズの正解・不正解などに喜んだり残念がったりしながら、時間を忘れてしまうほど楽しむことができました。

今年のクリスマス会も職員も子どもたちも全員が一緒になって、良い雰囲気の中楽しい会を行うことができ非常に良い行事になりました。

クリスマス会

あおぞらホーム M.N

12月中旬に愛育園ではクリスマス会が行われました。子ども達はどこかウキウキしていてクリスマス会を楽しみにしている姿が見てわかりました。

夕食を終えてから、まごころの中高生と職員によるジングルベルの演奏でクリスマス会がスタート。ツリーも点灯し、図書館は一気にクリスマスの雰囲気に包まれました。そして、あおぞらホームの中高生、職員によるパフォーマンスにみんな大盛り上がり。話題のキャラクターの登場に子ども達は大笑いでとても嬉しそうでした。イントロクイズやロシアンルーレットなどクリスマスレクも大盛り上がり！子どもも大人も全力で楽しみました。ロシアンルーレットでは子ども達が演じる側だったのですが、あまりにも上手な演技にまさかの正解者が一人も出ない展開に。子ども達の意外な一面に私も驚きました。

とても盛り上がったので、予定時間よりも長くなりましたが、子どもも大人も一緒に楽しんで終始笑って過ごせて良かったなと思いました。

クリスマス会

あおぞらホーム S・S

12月16日に恒例行事のクリスマス会を行いました。毎年子どもたちが楽しみにしている行事の一つで、例年以上に盛り上げたいという気持ちで準備をすすめていきました。

今年まごころホームさんでは、職員と子ども全員で合奏をするという事で、あおぞらホームでも子供を巻き込んでやりたいなと思っていましたが、盛り上げる側としては気持ちが乗っていないと、見てる側も盛り上がりがないと思い、有志で声掛けを行って行きました。今年のキャンプでも盛り上げてくれた子たちから声を掛けていったのですが、噂を聞きつけ、今まで盛り上げ役にならなかったことのない、中1H君も本人から私にクリスマス会の出し物に自分も参加したいと言ってきました。あまり人前で何かをやるというタイプの子ではないと思っていたのでとても嬉しく思

いました。そして計8人が集まり、夕方や夜の時間帯に練習を行って行きました。

発表の内容としてはキャンプでやったダンスを1つ、新しいダンスを2つやりました。今年の総決算と思ってキャンプでやったダンスも取り入れようと思ったのですが、キャンプでの経験者たちはもっと踊りたいという気持ちが強く、それぞれ役割をわけ

て練習に取り組みました。練習の中で、なかなかキレを上げていく事はできませんでしたが、みんな毎回の練習を楽しみにしている雰囲気がとても良かったように思います。また私としては、やる側も楽しめるクリスマス会を目指していたので、練習を頑張れば頑張るほど、会を盛り上げたいという気持ちで練習し、一つ殻を破って衣装も派手にしました。

本番では、みんな緊張した顔をしていましたが、会が始まるとスタートから歓声がすごく、例年よりも盛り上がるものになったかなと思います。4つもゲームを行いました、どれも好評で、時間を忘れる会となりました。これから冬休みが始まっていますが、その前に園全体が一体となれた良い行事として行うことができたのではないかと思います。

クリスマス会 児童感想 あおぞら

12月16日にクリスマス会がありました。個人的には今までやってきたクリスマス会の中で一番楽しかったです。中でも一番楽しかったのはグループ対抗ゲームです。自分はジャイアンチームでした。最初はイントロクイズをやりました。知っていた曲だらけで、分かっていたけど他のみんなが早く中々ポイントを稼げなかったです。イントロクイズの後は以心伝心ゲームをや



(令和6年1月10日発行 月刊「円福」520号付録)

ました。これは一人ずつ前に出て、出されたお題の質問に自分が答えて何を書いたのか当てるゲームです。自分のチームは2回答えることができました。その次は聖徳太子ゲームです。これは難しかったです。その次はロシアルーレットをやりました。これはみんな演技が上手でどのチームも全問不正解でした。結果はジャイアンチームが9ポイントで3位でした。今年のクリスマス会は凄く盛り上がり楽しかったです。

(中3 M・Yくん)



私はクリスマス会で心に残ったことがあります。それは一生懸命覚えたダンスです。今回のクリスマス会で踊ったダンスはペコリナイトというダンスです。練習時間がとても少なくできるか不安でした。でも、みんなで練習を一生懸命頑張り、覚えることができました。本番のクリスマス会では緊張しましたが、楽しく間違えることなくダンスを踊ることができてよかったです。とても楽しいクリスマス会でした。

(高1 T・Sくん)

クリスマス会 児童感想 まごころ

今日クリスマス会をやりました。私は、来たばかりだったので、みんながやっている所を見ているだけだったけど、みんなで盛り上がりながら楽しくクリスマス会ができたのでよかったです。男子のダンスをやった後にミタゾノさんが来て、びっくりしました。

その後のレクもとても楽しかったです。チームで協力して楽しくクリスマス会ができてよかったです。

次の行事も、みんなで盛り上がりながら楽しくやっていきたいです。

(小6 Hさん)



今日は、待ちにまったクリスマス会がありました。最初は、まごころとまごころ職員の演奏会をやりました。演奏した曲は「ジングルベル」です。私は鍵盤ハーモニカでパート2を演奏しました。最初はとても難しく、できるか不安だったけど、いっぱい練習を積み重ねました。本番では、間違えることなく、精一杯演奏することができたのでよかったですし、スキップも楽しくふむことが

できたのでよかったです。わたしが一番心に残っていることは、曲早押しクイズです。少し難しかったけど、自分の好きなアイドルの曲を当てることができたのでとても嬉しかったです。また、私がとてもすごいなと思ったのは、ミタゾノさんです。最初、ドアのすきまからのぞいておぼけかと思ったけど、ミタゾノさんでとてもびっくりしました。声がとても似ていて、走り方やしゃべり方、受け答えもすごかったです。とても盛り上がったクリスマス会にできてとても嬉しかったし、いままでにないすごいクリスマス会だったと思います。

(中3 Tさん)



12月16日にクリスマス会がありました。今年はまごころで「ジングルベル」を演奏しました。一番初めという事で、緊張しましたが、練習のようにしっかりと披露することができました。その次には、あおぞら中高・職員によるダンスの発表がありました。そこでは、「オトナブルー」「ひまわりダンス」など3曲ひろうしてくれました。とてもおもしろかったです。そういえば、ミタゾノさんが来てくれて、みんなにプレゼントをくれました。かわいい靴下の中に、お菓子が入っていました。次は、イントロクイズに、以心伝心ゲーム、聖徳太子ゲーム、ロシアンルーレットゲームの4つのレクをしました。私たちは、しずかちゃんチームでした。はじめは全然わからずピンチでしたが、途中から分かるようになって、きよくをあてることができました。次に行われた以心伝心ゲームでは、UちゃんのとAちゃんのを当てることができてすごくうれしかったです。つぎにあった聖徳太子ゲームは、一気に3, 4人の人が文字を言い、単語になるというやつでは、一人の声が聞こえないということもとても難しかったです。けどあてることができたのでよかったです。とても楽しいクリスマス会になりました。

(中3 Mさん)

クリスマスコンサート

あおぞらホーム K.A

12月9日にプロのピアニスト、サクソ奏者の方が来園され、生演奏を披露してくださいました。子どもたちがよく知っている、ジブリの名曲はじめ、ディズニーの名曲、そしてクラシックと様々なジャンルの曲を披露して下さり、子どもたちもとても真剣な眼差しで演奏を聞いていました。子どもたちの中では、初めてサクソを見るという子もおり、とても興味深くサクソ

スを見ている姿がありました。

自分自身もサクソの音色は聞いたことがあっても、これほど間近で演奏を聞いたり、実物を見ることは今までになかったので、とても貴重な経験をさせていただいたと思っております。

今回のクリスマスコンサートは子どもたちにとっても職員にとっても、とても良い経験となったと思います。演奏を披露して下さった、お二方には感謝の気持ちでいっぱいです。



あおぞらホームだより

あおぞらホーム Y・S

今年一年もあとわずかになってしまいました、毎年思う事ですが今年も毎月があつという間に過ぎ去ってしまいました。一年を振り返ってみて、あおぞらホームは四月から入所の子、まごころホームから来た子などで一気にメンバーが増えました。また、職員の体制も例年とは異なり小学生のホームに女性職員が入るようになりました。私ども男性職員にはないきめ細やかさでホームを見てくれて気づかされる場所も沢山ありました。中高生たちも新しいメンバーが4人も増えました、それぞれに色々な課題があり当初は心配していましたがそんな子たちも段々と愛育園の色に染まっていく姿を見ていると、元々いる子たちの良さのおかげだったり、自分はこの園の養育しか知りませんが自分たちの養育のレベルはきっと高いのだろうと実感することができ自信が持てた一年だったと思います。

また、毎月の行事に関してもすべての行事で昨年を上回ろうという意識で取り組んだところそこに子どもたちもついてきてくれたことがとても嬉しい一年でした。

そういう思いを来年も持って新しい年を迎えたいと思います。



まごころホームだより

まごころホーム T・M

寒い日が続き本格的な冬の訪れを感じます。子どもたちは寒さに負けず、長い二学期を乗り越えようとしています。季節性の風邪やインフルエンザなど学校で流行っていることもあり、何人か体調を崩してしまう場面もありましたがみんな復活し元気に過ごすことができています。12月はクリスマス会があり、まごころホームではジングルベルの演奏をしました。鍵盤ハーモニカや

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

リコーダーなど子どもと職員がさまざまな楽器を分担して行いました。本番までたくさんの練習を重ね、最初はバラバラだった演奏も徐々にまとまっていきました。本番ではみんな楽しんで演奏することができました。

もうすぐ冬休みに入ります。年越しなどのイベントがある休みですが、子どもたちが楽しく過ごせるようサポートしていきたいと思います。また、受験生にとっては受験前最後の長期休みで勝負の冬休みになるので、気を抜かず全力で応援していきたいと思います。

調理室だより

調理員 M・M

今年は師走と思われない様な暖かい日があったりで、気温差で体調管理が大変な中でも園の子供達は元気に過ごしています。

一年の締めくくりの12月：しめ縄作り・クリスマスツリー用のクッキー作り・クリスマスコンサート・子供達にとっては最も心わくわくなサンタさんへのプレゼントのお手紙ポストに投函・大掃除・クリスマス会・餅つき大会・大晦日を迎えました。

12月の特別メニュー

3日：K君誕生日メニュー… カレーうどん・唐揚げ・サケチーサラダ・ジュース

4日：初代園長先生ご命日メニュー… 赤飯・お吸い物・天ぷら・漬物・シュークリーム

9日：◎N君誕生日メニュー… 煮込みうどん・天ぷら・茶碗蒸し・今川焼き

◎ホーム食 あおぞらホーム… たこ飯・たこ焼き・牛角アイス

まごころホーム… 揚げ餃子・2種類の鍋

24日：クリスマスメニュー… エビグラタン・ケンタッキーチキン・海老のビスクスープ・ポテトサラダツリー・フルーツの盛り合わせ・ジュース



(令和6年1月10日発行 月刊「円福」520号付録)

28日：餅つき大会…5臼つき、【あんこ・きな粉・ゴマ・おろし餅・海苔巻き】を食し、残りは伸し餅にしました。

一年間、子供達が自分の誕生日メニューが心に残る様にと試行錯誤しながら作りました。又新年心新たに子供達の為の食事作りをしていこうと思っております。